

電気設備点検整備(蹴上浄水場)

特記仕様書

京都市上下水道局

建設リサイクル法	
<input type="checkbox"/> 適用	<input checked="" type="checkbox"/> 適用外

共通事項

本特記仕様書に記載のない事項については、令和7年12月版の水道部施設課作業一般仕様書（委託）による。

なお、作業一般仕様書（委託）は水道部施設課で配布する。

1 作業概要

本作業は、「自家用電気工作物に関する保安規程」に基づき、蹴上浄水場に設置する電気設備の点検整備を行うものである。

2 作業場所

京都市東山区栗田口華頂町3番地 蹴上浄水場

3 完成期限

令和9年3月15日とする。

4 点検整備対象設備

- (1) 送水ポンプ設備 (送水ポンプ棟 電気室)
- (2) 排水処理設備 (排泥池 電気室)

5 機器仕様及び作業内容

- (1) 「別紙1対象機器」に示す機器及び「別紙2対象保護継電器」に示す各回路における保護継電器について、「電気設備点検整備作業基準」に従い、点検整備を行うこと。
- (2) 「別紙1対象機器」に示す機器及び「別紙2対象保護継電器」に示す回路について、「電気設備点検整備作業基準」に従い、保護連動試験を行うこと。
- (3) 点検整備対象機器について、「普通点検」又は「精密点検」を行うときは、「電気設備点検整備作業基準」に規定する共通外観点検も併せて行うこと。

6 部品取替及び調整

下記の部品を取り替え及び調整すること。

- (1) 送水ポンプ設備

【高区】交換ヒューズ一覧

盤名称	用途	形名・定格	数量
1号高区引込盤	VT一次	PL-G 7.2/3.6kV T1A 40kA	4本
	VT二次	FA-30C 10A	2本
	PT二次3A	ガラス管 3A	3本
高区母線断路器盤	EVT一次(1号系)	PL-G 7.2/3.6kV T1A 40kA	3本
	EVT二次(1号系)	FA-30C 10A	2本
	EVT三次(1号系)	FA-30C 10A	2本
	GPT二次3A(1号系)	ガラス管 3A	3本
	EVT一次(2号系)	PL-G 7.2/3.6kV T1A 40kA	3本
	EVT二次(2号系)	FA-30C 10A	2本
	EVT三次(2号系)	FA-30C 10A	2本
	GPT二次3A(2号系)	ガラス管 3A	3本
2号高区引込盤	VT一次	PL-G 7.2/3.6kV T1A 40kA	4本
	VT二次	FA-30C 10A	2本
	PT二次3A	ガラス管 3A	3本

【最高区】交換ヒューズ一覧

盤名称	用途	形名・定格	数量
1号最高区引込盤	VT 一次	PL-G 7.2/3.6kV T1A 40kA	4本
	VT 二次	FA-30C 10A	2本
	PT 二次 3A	ガラス管 3A	3本
最高区母線断路器盤	EVT 一次(1号系)	PL-G 7.2/3.6kV T1A 40kA	3本
	EVT 二次(1号系)	FA-30C 10A	2本
	EVT 三次(1号系)	FA-30C 10A	2本
	GPT 二次 3A(1号系)	ガラス管 3A	3本
	EVT 一次(2号系)	PL-G 7.2/3.6kV T1A 40kA	3本
	EVT 二次(2号系)	FA-30C 10A	2本
	EVT 三次(2号系)	FA-30C 10A	2本
	GPT 二次 3A(2号系)	ガラス管 3A	3本
2号最高区引込盤	VT 一次	PL-G 7.2/3.6kV T1A 40kA	4本
	VT 二次	FA-30C 10A	2本
	PT 二次 3A	ガラス管 3A	3本

※支給品あり

PL-G 7.2/3.6kV T1A 40kA 計28本【支給品】
 FA-30C 計24本【支給品】
 ガラス管 3A 計24本 内7本【支給品】

・高圧真空電磁接触器用ヒューズ

CLS-R3.6kV M100A C70A 40kA 3本×4台分 計12本 内6本【支給品】
 CLS-R3.6kV M50A C35A 40kA 3本×4台分 計12本 内6本【支給品】

・高圧真空電磁接触器用 PT1 次ヒューズ

PL-G 7.2/3.6kV T1A 40kA 2本×8台分 計16本【支給品】

・電流計取替

LR-110NAA 計4台(LS-110AAの代替品)
 2号・4号高区送水ポンプ盤 レンジ 0~100A
 1号・4号最高区送水ポンプ盤 レンジ 0~50A

(2) 3・4号沈殿池設備

3-3フロキュレータで使用しているインバータ等を取替調整すること。
 (別紙3インバータ参考図)

既設：インバータ(FR-A520-1.5K)、ACリアクトル、DCリアクトル、
 制御端子オプション

新設：インバータ(FR-A820-1.5K-1)【支給品】
 ACリアクトル(FR-HAL-1.5K)【支給品】
 DCリアクトル(FR-HEL-1.5K)【支給品】
 制御端子オプション(FR-A8TR)【支給品】

7 注意事項

(1) 作業の計画及び準備

- ア 受注者は、作業に当たって、当浄水場電気主任技術者の指示に従うこと。
- イ 受注者は、作業に着手する前に、仕様書等の内容を十分確認し、対象機器の作業内容と活線部の確認を行うとともに、当浄水場電気主任技術者に作業手順書を提出し承諾を受けること。また、予定外の作業は、行わないこと。
- ウ 本作業に関する各種電源の投入及び開放操作は、監督員が行う。受注者は、その旨を作業に従事する者に徹底すること。
- エ 受注者は、作業の着手に際し、作業区域及び立入禁止区域をロープ、標示旗、標示棒等で区画し、作業範囲を明示すること。

(2) 作業時の安全確保

- ア 受配電盤又は負荷側の機器を点検する場合は、当該受配電盤面に「投入禁止」等の札を表示し、作業にかかること。
- イ 電気回路に触れる前には、必ず検電を行うこと。
- ウ フック棒操作の断路器、電力ヒューズ、交流負荷開閉器などの開閉は、必ず規定のフック棒を使用して行うこと。
- エ 計器用変成器や遮断器などの高圧回路に触れる場合は、静電誘導や残留電荷による感電を防止するために、各断路器を完全に開放し、受配電盤面に「投入禁止」等の札をつけた後に、完全に回路を接地してから行うこと。
- オ コンデンサは、残留電荷により感電しないように、必ず各相端子を接触して電荷を放電してから作業にかかること。
- カ 絶縁抵抗測定後は、必ず放電させてから触れること。
- キ 通電中の計器用変成器の二次、三次回路は、絶対に開路しないこと。
- ク 作業に必要な保護具（高圧ゴム手袋、電気用ゴム長靴、電気帽）、防具（ゴム管、ゴム板）、防護具（建築支障防護管）、工具及び材料（フック棒、標識、ロープ、短絡接地用具、高圧検電器、低圧検電器など）を常に準備し、これらの損傷や劣化の有無を点検すること。
- ケ 必要な場合は、保護具を使用すること。

(3) 感電防止

- ア 作業のための停止範囲は、できるだけ広くとり、死線と活線とが交錯しないようにすること。また、作業区域は、適当な広さに定め、監視を徹底すること。
- イ 遮断器、断路器、ケーブルヘッドなどが多数並んでいる場合には、線名、回路番号、機器番号及び相別等を危険のないように明示しておくこと。
- ウ 高電圧で充電中の導体に頭上 30cm、その他の部分が 60cm の距離以内に接近する場合には、安全な服装、充電部の防護又は高圧ゴム手袋の着用など感電防止に必要な措置をしたうえで作業を行うこと。
- エ 高圧電路を開路する場合は、必ず検電器による検電を行って充電していないことを確認し、作業前に必ず短絡接地用具を取り付けること。
- オ 開路した電路に残留電荷が残っているおそれがあるときは、これを確実に放電させること。

(4) 接地作業

- ア 必ず作業箇所に短絡接地用具を使用して、接地を取り付け、作業の安全をはかること。
- イ 短絡接地用具の構成は、次のとおりとすること。
 - (ア) 接地導線は、高圧回路で 22mm² 以上、特別高圧回路で 38mm² 以上の十分な可とう性のある軟銅のビニル線で、短絡導線はなるべく短くすること。
 - (イ) 接地側金具は、電氣的に完全に接続し、着脱が容易にできる蝶ねじ止め等とすること。
 - (ウ) 電線側金具は、電氣的に完全に接続し、着脱が容易にできる構造とすること。

(エ) 短絡接地用具は、あらかじめ定められた接地線に接続すること。ただし、接地線とは、電気設備技術基準に定められたA種接地工事に適合する地中埋設の銅板、金属管などに接続された導線、または、これに接続されたアース・ターミナルもしくは鉄鋼などをいう。

ウ 接地は、次のとおり行うこと。

(ア) 関係開閉器の開路を確認したのち、フック棒、検電器などで充電されていないことを確かめること。

(イ) 短絡接地用具をつけるには、接地側金具を接地線に接続し、次に電線側金具を機器または電線に確実に接続させること。

(ウ) 短絡接地金具を外すときは、まず電線側金具を外し、次に接地金具と接地線との接続を外すこと。

(エ) 短絡接地用具の各部は、機能を維持するために定期的に点検を行い、使用前にも必ず点検すること。

(5) 測定

ア 測定を行うときは、有効な校正を行った電圧計、電流計、絶縁抵抗計等を用いること。

イ 絶縁抵抗の測定は、JIS C1302「絶縁抵抗計」に定められている絶縁抵抗計を使用するものとし、低圧の機器及び電路については500V絶縁抵抗計、高圧又は特別高圧の機器及び電路については1,000V絶縁抵抗計を使用して測定すること。

ウ 絶縁抵抗値は、「1分値」を採用するものとする。ただし、被測定機器の静電容量が大きい場合短時間では絶縁抵抗計の指針が静止しないときは、「3分値」を採用すること。

エ 絶縁抵抗値の基準値は、低圧の機器及び電路については10MΩ以上、高圧又は特別高圧の機器及び電路については100MΩ以上とする。

オ 接地抵抗の測定は、JIS C1304「接地抵抗計」に定められている接地抵抗計を使用し、被測定接地極、電圧用補助電極及び電流用補助電極が約10mの間隔でほぼ一直線となるようにして行うこと。

カ 接地抵抗の測定の際は、地電圧が小さいことを確認すること。地電圧が大きい場合には補助電極の位置の変更等を行うこと。測定箇所周辺の機器の使用停止、電気回路の開放等が必要な場合は、監督員に申し出ること。

(6) 完成図書

ア 受注者は、測定、点検、機器の動作確認等を行ったときは、作業一般仕様書に規定する完成図書として、各機器について局が指定する書式例に従い報告書を作成し提出すること。

イ 受注者は、点検整備対象機器について、点検整備結果の概要、更新又は部品の取替えの必要性、その他状態についての留意事項などをまとめた所見を報告書に記載すること。

(7) 作業記録写真

ア 受注者は、作業一般仕様書（委託）に規定する作業記録写真については、実際に行った作業と「電気設備点検整備作業基準」に規定する作業とが対比して判別できるように、撮影を行い写真帳に整理すること。

イ 受注者は、点検整備の対象について同型機種が多数ある場合において、作業内容が同様の場合は、作業記録写真に関して監督員の指示に従うこと。

(8) 作業の後始末

ア 作業を終了し、通電しようとするときは、作業員について感電のおそれがないこと及び短絡接地用具を取り外したことを確認した後に行うこと。

イ 作業終了の際は、工具、保護具などの数量を確認し、現場付近の清掃を行い、後始末を完全にする。

電気設備点検整備作業基準

1 共通

(1) 外観点検

ア 共通外観点検

- (ア) 外観上の破損、変形、結露、発錆及び汚損がないか確認すること。
- (イ) 端子、取付けボルト、ナット等の締め付け状態を点検し、必要な場合は増し締めを行うこと。
- (ウ) 配線及び端子に損傷、劣化、過熱変形等がないか確認すること。
- (エ) 碍子、ブッシングに損傷、汚損等がないか確認すること。
- (オ) 絶縁物表面の塵埃等を取り除くこと。
- (カ) 扉の開閉状態、パッキン、ハンドル、銘板及び表示板の点検を行うこと。
- (キ) 操作部分の点検を行うこと。
- (ク) 表示部分の点検を行い、必要な場合は表示ランプの交換を行うこと。
- (ケ) 動作回数の記録を行うこと。
- (コ) 必要な場合、示温ラベルの取替えを行うこと。
- (ク) 必要な場合、タッチアップを行うこと。

2 真空遮断器(真空電磁接触器)

(1) 普通点検

ア 操作機構点検

- (ア) 各ばね、フック、ローラ、ラッチの変形、磨耗等の異常がないか点検を行うこと。
- (イ) 操作機構の必要な箇所(回転部、摺動部等)に注油(グリスメイト等)を行うこと。
- (ウ) 投入レバー、ロック機構に異常がないか確認すること。
- (エ) ダッシュポット部に異常がないか確認すること。
- (オ) 割りピン、止めリングなどの脱落がないことを確認すること。
- (カ) 操作機構の動作を確認し、必要な調整を行うこと。

イ 本体点検

- (ア) 絶縁棒及びロッドに傷、クラック等がないか確認すること。
- (イ) 接触子の古いグリスを拭き取り、接点グリス(MG701、モリコートM等)を薄くのばして塗布すること。
- (ウ) 各相電極の消耗量(ワイプ)を確認すること。
- (エ) 真空バルブの電極部、導体部、断路部などに異常がないか点検を行うこと。
- (オ) 引出し機構の必要な箇所(回転部、摺動部等)にグリス(MG701、モリコートM等)を塗布すること。

ウ 制御回路

- (ア) 補助スイッチの接触状態及び動作が正常か確認すること。
- (イ) 配線、コイル、モーターに異常がないか確認すること。

エ 測定試験

- (ア) 絶縁抵抗(極間、対地間)を1,000V絶縁抵抗計を使用して測定し、500M Ω 以上あることを確認すること。
- (イ) 絶縁抵抗(制御回路)を500V絶縁抵抗計で使用して測定し、2 M Ω 以上あることを確認すること。

(2) 精密点検

精密点検は、普通点検に規定する点検に加えて、次の作業も併せて行うこと。

ア 測定試験

- (ア) 開閉動作特性(投入、開極時間及び動作電圧)を測定し、基準値を満たしているか確認すること。

と。

(イ) 電極接点の消耗度及び接点ストロークについて測定し、別紙 1 に示す基準値を満たしているか確認すること。

(ウ) 真空バルブについて、同相極間に規定電圧を 1 分間印加して閃絡しないことを確認し、真空度に異常がないかを確認すること。

3 断路器

(1) 普通点検

ア 操作装置点検

(ア) 各ばね、フック、ローラの変形、磨耗等の異常がないか点検を行うこと。

(イ) 回転部及び摺動部に注油を行うこと。

(ウ) 操作機構の調整を行い、動作を確認すること。

イ 本体点検

(ア) 固定、可動コンタクトに損傷、曲がりがないか確認すること。

(イ) 固定、可動コンタクトの接触状況(中心線の一致、ワイピング長、接触長等)が適切か確認すること。

(ウ) 接触部の手入れ(カーボングリス(マイクロカーボングリース No. 1)の塗替え等)を行うこと。

(エ) 三相の不揃いがないか確認すること。

(オ) リミットスイッチの動作位置の確認を行うこと。

(カ) 各種スイッチの動作確認を行うこと。

ウ 測定試験

以下の項目について測定を行い、基準値を満たしているか確認すること。

(ア) 絶縁抵抗測定(操作回路一括と大地間)

(イ) 絶縁測定(各相間、極間及び大地間)

4 変圧器(計器用変成器)

(1) 普通点検

ア 本体点検

(ア) 巻線コイル絶縁部等に損傷、変色がないか確認すること。

(イ) 巻線コイル支持碍子に緩み、損傷がないか確認すること。

(ウ) 巻線コイルスペーサーが脱落、損傷していないか確認すること。

(エ) タップ端子、コイル口出し部に異常がないか確認すること。

(オ) 鉄心に異常(変形、発錆、過熱変色等)がないか確認すること。

(カ) 温度計指示値が基準内であるか確認すること。

(キ) 温度警報設定値が適正か確認すること。

(ク) 温度警報接点の動作が正常か確認すること。

(ケ) 温度計感温部の取付け状態が適正か確認すること。

(コ) 冷却扇の羽根に異常がないか、異常音が発生していないか確認すること。

(サ) 冷却扇の回転方向が適正か確認すること。

イ 測定試験

(ア) 絶縁抵抗(1 次側-2 次側間、1 次側-接地間、2 次側-接地間、付属設備回路)を絶縁抵抗計を使用して測定し、2,000MΩ 以上あることを確認すること。

5 零相変流器

(1) 普通点検

ア 本体点検

(ア) 機器外観に異常がないことを確認すること。

(イ) 二次端子のねじにゆるみがないか確認すること。

6 コンデンサ

(1) 普通点検

ア 本体点検

- (ア) 油もれがないか確認すること。
- (イ) ブッシングに汚れ、損傷がないか確認すること。
- (ウ) 本体に変形、塗装の異常がないか確認すること。
- (エ) 油面計の指示を確認すること。
- (オ) 故障スイッチの点検を行うこと。

イ 測定試験

- 以下の項目について測定を行い、基準値を満たしているか確認すること。
- (ア) 絶縁抵抗測定(端子一括～大地間)
 - (イ) 静電容量を測定すること。

7 リアクトル

(1) 普通点検

ア 本体点検

- (ア) 油もれがないか確認すること。
- (イ) ブッシングに汚れ、損傷がないか確認すること。
- (ウ) 本体に変形、塗装の異常がないか確認すること。
- (エ) 油面計の指示を確認すること。
- (オ) 故障スイッチの点検を行うこと。

イ 測定試験

- 以下の項目について測定を行い、基準値を満たしているか確認すること。
- (ア) 絶縁抵抗測定(端子一括～大地間)

8 避雷器

(1) 普通点検

ア 本体点検

- (ア) コンパウンドに異常がないか確認すること。
- (イ) 接地線取付け状態に異常がないか確認すること。

イ 測定試験

- 以下の項目について測定を行い、基準値を満たしているか確認すること。
- (ア) 絶縁抵抗(端子一括～大地間)

9 電力ヒューズ

(1) 普通点検

ア 本体点検

- (ア) 碍子に汚損、破損等の異常がないか確認すること。
- (イ) 接続部に過熱、変形等がないか確認すること。

イ 測定試験

- 以下の項目について測定を行い、基準値を満たしているか確認すること。
- (ア) 絶縁抵抗測定(端子一括～大地間)

10 保護継電器

(1) 普通点検

ア 本体点検

- (ア) 継電器本体に異常がないか確認すること。
- (イ) 可動部、コイル、接点に異常がないか確認すること。

(ウ) 各部接点、配線等に異常がないか確認すること。

イ 測定試験

以下の項目について測定を行い、基準値を満たしているか確認すること。

(ア) 絶縁抵抗測定(端子一括～大地間、端子相互間、接点極間)

ウ 動作試験

各継電器について、日本電機工業会技術資料「保護継電器の保守・点検指針」(JEM-TR156)に準拠して、動作試験を行うこと。

なお、継電器を盤から外す場合には、適切な配線処理を行って、回路の短絡、地絡、接触不良等を起こさないように注意すること。

11 保護連動試験

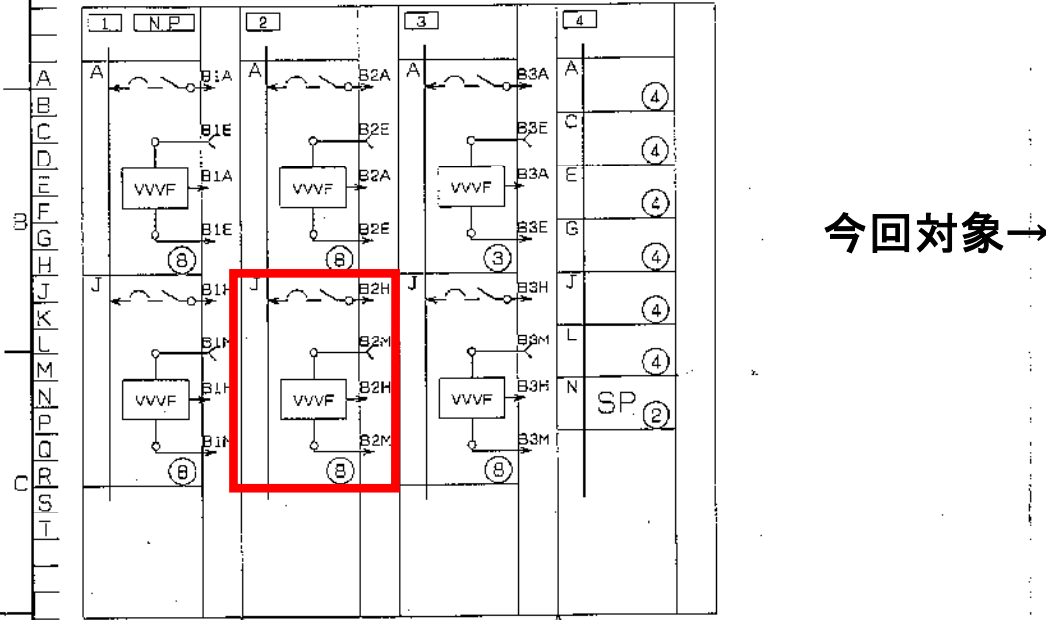
(1) 普通点検

ア 操作試験

「別紙1 対象機器」に示す機器において、「点検内容」で「操作試験」を指定するものについては、中央及び現場にて、「入」、「切」の操作が正常に行われること及び操作に従い表示が正常になされることを確認すること。

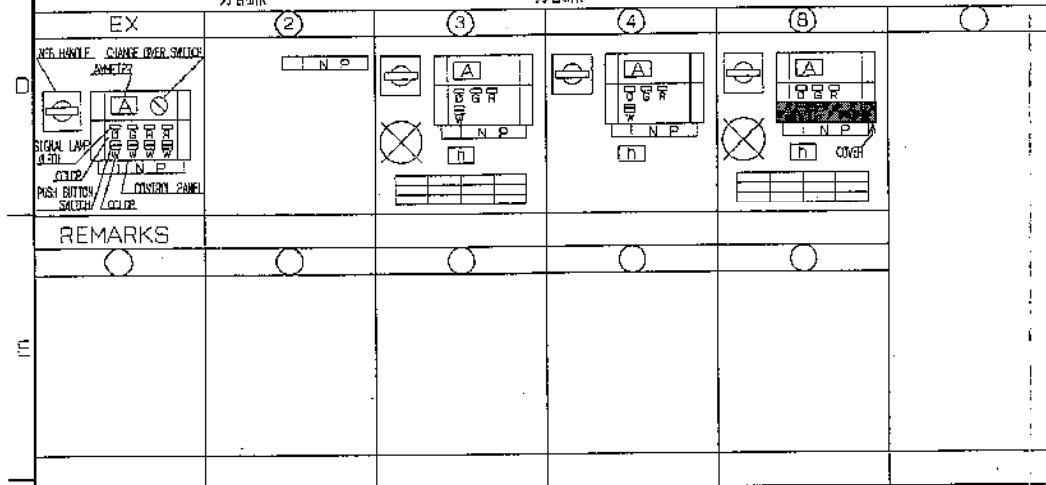
別紙3 インバータ参考図

銘板番号	盤名称 銘板
1	3・4号沈黙池コントロールセンタ



今回対象→

ユニット番号	銘板記入文字 N: 銘板なし SP: 記入文字なし	銘板手配			ケーブルサイズ (mm)	ユニットタイプ	A-マー(A) CTR比(A)	ユニット接続図		展開接続図	
		容量 (kW) 対 型名	極数	電流 (A)				01JND464A0	XZ10298	備考	
1A	3-1号 汚濁攪拌機	1.5		6.3	3.5	F	10/5	S10-1	H151.2		
1J	3-2号 汚濁攪拌機	1.5		6.3	3.5	F	10/5	S1G. 時計計, A520-1.5K			
2A	3-2号 フロキュレータ	2.2		6.8	3.5	F	10/5	S10-1	H078.9		
2J	3-3号 フロキュレータ	1.5		6.3	3.5	F	10/5	S10-1	H084.5		
3A	3号池 急速攪拌機	7.5		27.4	22	F	30/5	S04-1	H052.3		
3J	3-1号 フロキュレータ	3.7		14.2	5.5	F	20/5	S1G. 時計計, A520-3.7K			
4A	中管用着水井 検水ポンプ	0.75		3.4	3.5	N	5	S02-3	H312		
4C	水質計器用着水井 検水ポンプ	0.75		3.4	3.5	N	5	S1G. 時計計			
4E	中管用3・4号沈黙池 検水ポンプ	0.75		3.4	3.5	N	5	S02-3	H317		
4G	水質計器用3・4号沈黙池 検水ポンプ	0.75		3.4	3.5	N	5	S02-3	H318		
4J	3・4号沈黙池管廊 1号床排水ポンプ	0.75		3.5	3.5	N	5	S02-3	H133		
4L	3・4号沈黙池管廊 2号床排水ポンプ	0.75		3.5	3.5	N	5	S02-3	H135		
4N	SP					SP					



CHANGE	A	02-9-25	宮本
	B	03-8-5	佐藤
	C	03-8-5	佐藤
	D	03-9-16	佐藤

MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION
POWER DISTRIBUTION SYSTEMS CENTER

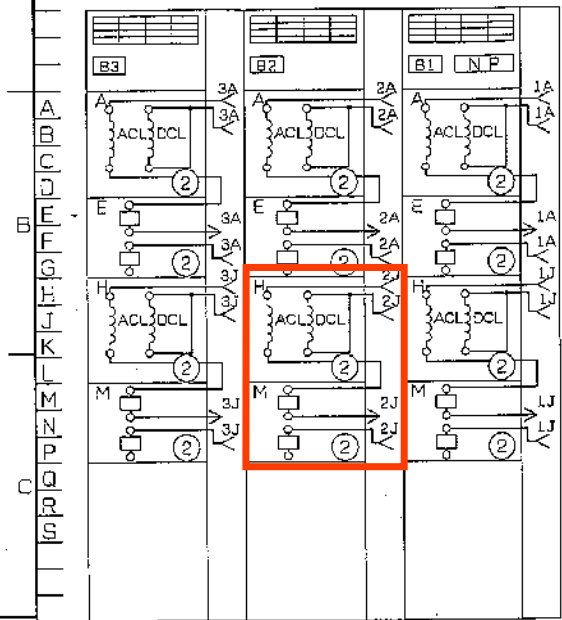
作成日付 DATE: 渡辺 宮本
作成 DRAWN: 渡辺 宮本
検査 CHECKED: 宮本
設計 DESIGNED: 渡辺

3・4号沈黙池コントロールセンタ

TITLE: ユニット配置図

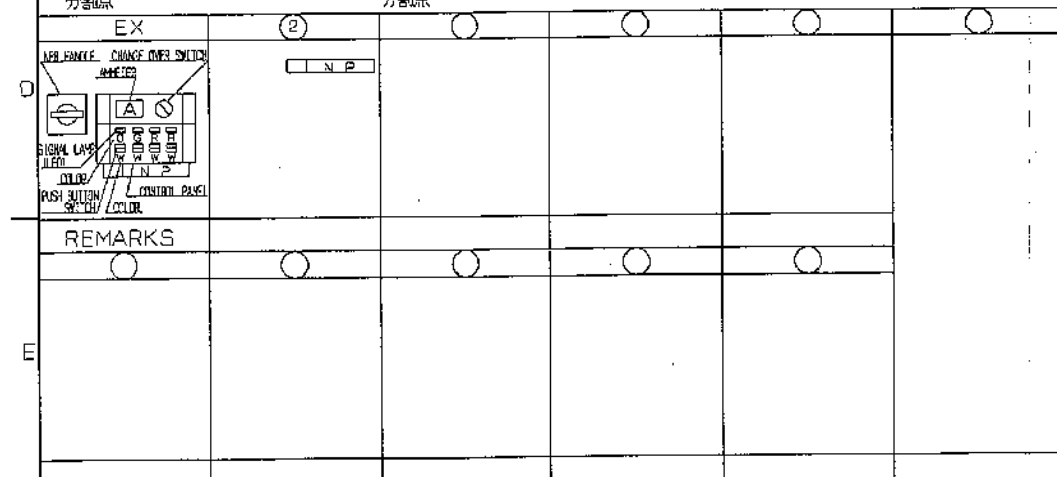
DWG. NO.: 01JND464A1B05

図番号	機名称 銘板
B1	3・4号沈没池コントロールセンタ



今回対象→

ユニット番号	銘板記入文字 N:銘板なし SP:記入文字なし	路板手配	モーター OR NFB		ケーブルサイズ (mm ²)	ユニットタイプ	Aメータ (A) CT比 (A)	ユニット接続図		展開接続図	
			容量 (kW) 型名	極数 電流 (A)				備	考	備	考
B 1A	3-1号 汚泥攪拌機 AC・DCリアクトル					L		S10-2	H152	BAL-1.5K, BEL-1.5K	
B 1E	3-1号 汚泥攪拌機 ラインノイズフィルタ					U		S10-3	H152	FR-BLF	
B 1H	3-2号 汚泥攪拌機 AC・DCリアクトル					L		S10-2	H158	BAL-1.5K, BEL-1.5K	
B 1M	3-2号 汚泥攪拌機 ラインノイズフィルタ					U		S10-3	H158	FR-BLF	
B 2A	3-2号 フロキュレータ AC・DCリアクトル					L		S10-2	H079	BAL-2.2K, BEL-2.2K	
B 2E	3-2号 フロキュレータ ラインノイズフィルタ					U		S10-3	H079	FR-BLF	
B 2H	3-3号 フロキュレータ AC・DCリアクトル					L		S10-2	H085	BAL-1.5K, BEL-1.5K	
B 2M	3-3号 フロキュレータ ラインノイズフィルタ					U		S10-3	H085	FR-BLF	
B 3A	3号池 急速攪拌機 AC・DCリアクトル					L		S04-2	H053	BAL-7.5K, BEL-7.5K	
B 3E	3号池 急速攪拌機 ラインノイズフィルタ					U		S04-3	H053	FR-BLF	
B 3H	3-1号 フロキュレータ AC・DCリアクトル					L		S10-2	H073	BAL-3.7K, BEL-3.7K	
B 3M	3-1号 フロキュレータ ラインノイズフィルタ					U		S10-3	H073	FR-BLF	



A	02-9-26 倉本 渡辺	倉本
B	03-8-5 水田	倉本
C	03-8-5 水田	倉本

CODE
CA10607

MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION
POWER DISTRIBUTION SYSTEMS CENTER

作成日付 DATE: 渡辺
作成 DRAWN: 宮本
照査 CHECKED: 渡辺
照査計 DESIGNED: 渡辺

検認 APPROVED: 宮本

3・4号沈没池コントロールセンタ

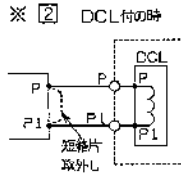
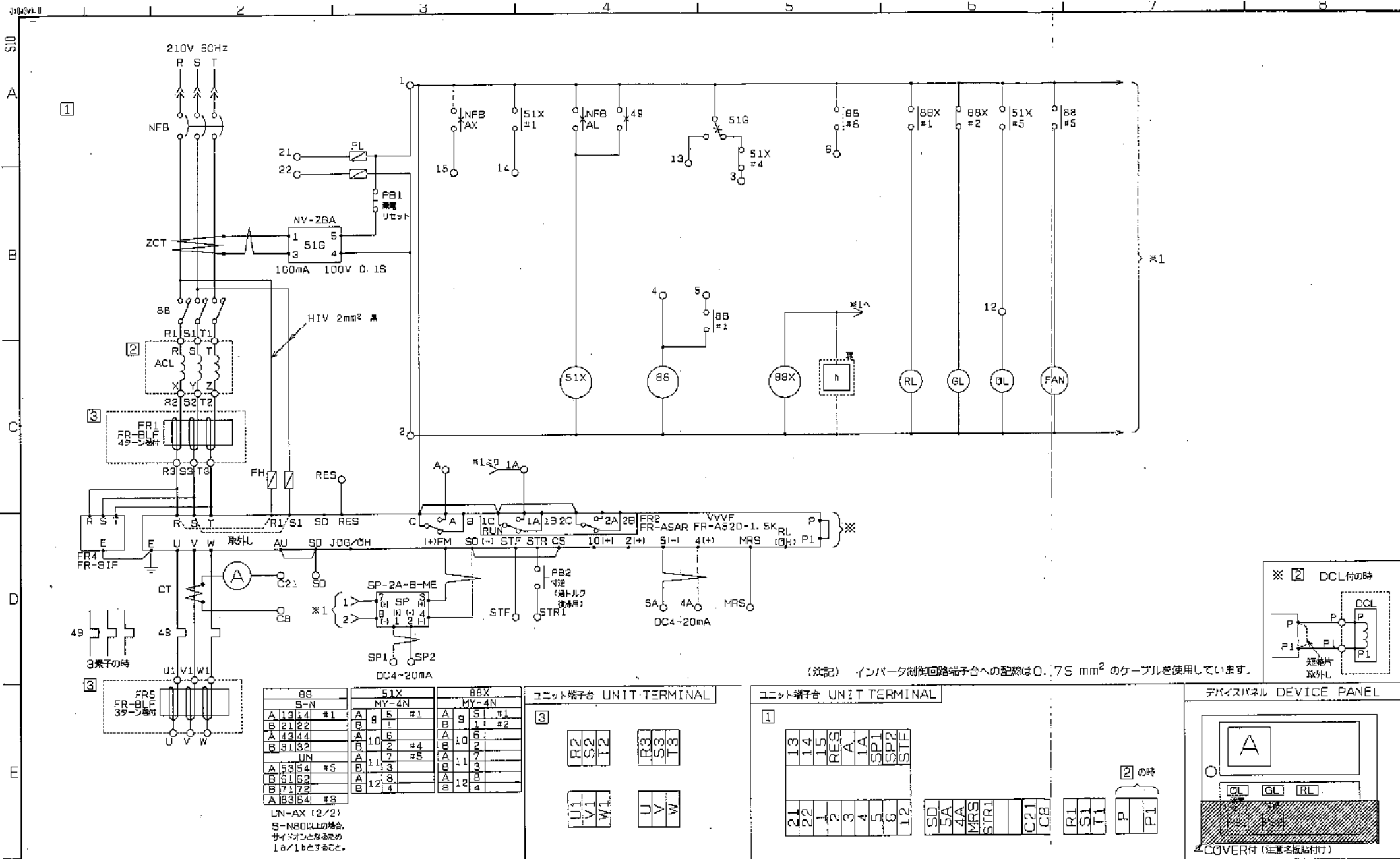
TITLE: ユニット配置図

DWG. NO.: 01JND464A1B08

SEGMENT 1	MAIN CCT.	MOTGR	CONT. CCT.	周波数	電線種類	NFB	THERMAL-RY.	DA10607	NM001C630A70 P02 T02	0104S430
SEGMENT 2	210 V	203 V	105 V	FREQ	WIRE	TEMP	TYPE	001		
SEGMENT 3	105 V	V	105 V	V	TYPE	PL	RESET		CONT. DIA 01JND464A0	1
				60 Hz	EH-LFC	40 D	3 2E L	A	ELEM. DIA XZ10298	01JND464A1001

行	ユニット	定	接続	電線	ユニット	NFB	CONTACTOR	TRANS	SIG.EMC	AA-CT-COS	FUSE	AUX - PARTS			
番号	UNIT NO	RATING	CONT. DIA1	WIRE-SD	UNIT	TYPE	CONTACTOR	TYPE	EMC	CT-COS	CODE	FR	SP	FAN	FR2
01	1A	1.5kW *6.93A 4P	S10-1	2	A8-10SPN02-A52-1-X M703C502N01 A8-D1	NF100-SP 30A3P ALAX	MSO-N21 TH-N20 6.6A 7.2A	NV-ZBA 100mA 0.1s ZT-15B	10/5	AZ30GR P4	M2-10A M2-10A	h. FR4.	SP. 51X.	FAN. 88X.	FR2. UN2A2B.
02					M104C106K04	VVVF A520 1.5K									
03	1J	1.5kW *6.93A 4P	S10-1	2	A8-10SPN02-A52-1-X M703C502N01 A8-D1	NF100-SP 30A3P ALAX	MSO-N21 TH-N20 6.6A 7.2A	NV-ZBA 100mA 0.1s ZT-15B	10/5	AZ30GR P4	M2-10A M2-10A	h. FR4.	SP. 51X.	FAN. 88X.	FR2. UN2A2B.
04					M104C106K04	VVVF A520 1.5K									
05	2A	2.2kW *9.68A 4P	S10-1	2	A8-10SPN02-A52-2-X M703C502N01 A8-D1	NF100-SP 30A3P ALAX	MSO-N21 TH-N20 11A 10A	NV-ZBA 100mA 0.1s ZT-15B	10/5	AZ30GR P4	M2-10A M2-10A	h. FR4.	SP. 51X.	FAN. 88X.	FR2. UN2A2B.
06					M104C106K04	VVVF A520 2.2K									
07	2J	1.5kW *6.93A 4P	S10-1	2	A8-10SPN02-A52-1-X M703C502N01 A8-D1	NF100-SP 30A3P ALAX	MSO-N21 TH-N20 6.6A 7.2A	NV-ZBA 100mA 0.1s ZT-15B	10/5	AZ30GR P4	M2-10A M2-10A	h. FR4.	SP. 51X.	FAN. 88X.	FR2. UN2A2B.
08					M104C106K04	VVVF A520 1.5K									
09	3A	7.5kW *30.14A 4P	S04-1	14	A8-10SPN05-A52-7-X M703C502N02 A8-D1	NF100-SP 75A3P ALAX	MSO-N50 TH-N60 29A 32A	NV-ZBA 100mA 0.1s ZT-30B	30/5	AZ30GR P4	M2-10A M2-10A	h. FR4.	SP. 51X.	FAN. 88X.	FR2. UN2A2B.
10					M104C106K04	VVVF A520 7.5K									
11	3J	3.7kW *15.62A 4P	S10-1	3.5	A8-10SPN02-A52-3-X M703C502N01 A8-D1	NF100-SP 50A3P ALAX	MSO-N21 TH-N20 15A 16A	NV-ZBA 100mA 0.1s ZT-15B	20/5	AZ30GR P4	M2-10A M2-10A	h. FR4.	SP. 51X.	FAN. 88X.	FR2. UN2A2B.
12					M104C106K04	VVVF A520 3.7K									
13	4A	0.75kW 3.4A 4P	S02-3	3.5	A2A-10SPN02N-X M700C401N01 A2-D1	NF100-SP 15A3P ALAX	MSO-N21 TH-N20 3.6A 3.6A	NV-ZBA 100mA 0.1s ZT-15B	5 5/5	AZ30GR P4	M2-10A	h.	51X.		
14					M104C106K01										
15	4C	0.75kW 3.4A 4P	S02-3	3.5	A2A-10SPN02N-X M700C401N01 A2-D1	NF100-SP 15A3P ALAX	MSO-N21 TH-N20 3.6A 3.6A	NV-ZBA 100mA 0.1s ZT-15B	5 5/5	AZ30GR P4	M2-10A	h.	51X.		
16					M104C106K01										
17	4E	0.75kW 3.4A 4P	S02-3	3.5	A2A-10SPN02N-X M700C401N01 A2-D1	NF100-SP 15A3P ALAX	MSO-N21 TH-N20 3.6A 3.6A	NV-ZBA 100mA 0.1s ZT-15B	5 5/5	AZ30GR P4	M2-10A	h.	51X.		
18					M104C106K01										

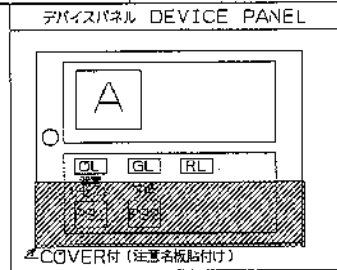
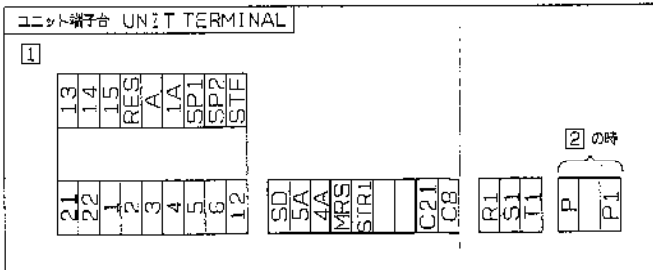
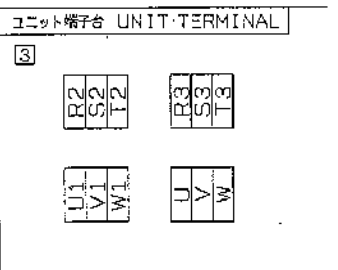
CHANGE	A	03-8-5 水田 佐藤	EXPLANATORY NOTES. NFB-CODE EMC-CODE AA-CODE CT-CODE FUSE-CODE MAGNETIC TRIP ONLY 01:EMC-01 02:EMC-02 03:EMC-03 04:EMC-04 MCT-CODE 002A:MCT-002A 002Z:MCT-002Z 100A:MCT-100A 100Z:MCT-100AZ * : ANOTHER RATINGS USE	MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION POWER DISTRIBUTION SYSTEMS CENTER	3-4号機地コントロールセンター		
	B	03-8-6 水田 佐藤			L:CN-L M:MK P:CN-LP A:ARC M:MK M:CN-LN P:PA.P.A C:CRS R:CR2 1:15WA 2:40WA	作成日付	検 認
	C	03-9-16 水田 佐藤				DATE	APPROVED
	倉本	宮本					
倉本	宮本	倉本	宮本	宮本	TITLE ユニット一覧表 UNIT TABLE		
倉本	宮本	倉本	宮本	倉本	DWG. NO. 01JND464A1D01		



(注記) インバータ制御回路端子台への配線は0.75 mm²のケーブルを使用しています。

88 S-N	51X MY-4N	88X MY-4N
A 13 14 #1	A 8 5 #1	A 9 1 #1
B 21 22	B 10 2 #4	B 10 2 #2
A 43 44	A 11 3 #5	A 11 3 #1
B 31 32	B 12 4	B 12 4
UN		
A 53 54 #5		
B 61 62		
B 71 72		
A 83 84 #8		

LN-AX (2/2)
S-N80以上の場合、
サイドオンとなるため
1a/1bとする。



変更履歴

A	03-9-1	水田	発注
B	03-9-10	水田	発注
C	03-10-3	水田	発注
D	03-10-14	水田	発注

凡例 EXPLANATORY NOTES

- 外部取付 OTHER PANEL
- 扉および別ユニット DOOR OR ANOTHER UNIT
- 器具内蔵の機器 WITHIN THE DEVICE

MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION
POWER DISTRIBUTION SYSTEMS CENTER

作成日付 DATE	03-8-5	検査 APPROVED	佐藤
作成 DRAWN	水田		
検査 CHECKED	佐藤		
設計 DESIGNED	水田		

ユニット接続図 (兼展開図)
UNIT CONNECTION DIAGRAM (OR ELEMENTARY DIAGRAM)

TITLE /MIZUZ/DV112*0

元図ASC4
DWS. NO.
01JND464A0S10